記　者　発　表　資　料
解禁日等は特にありません

平成２２年５月２７日
国土交通省遠賀川河川事務所

河口堰にゴミが漂着!!

～５月２３日の大雨で遠賀川河口堰に流れ着いたゴミを撤去しています～

遠賀川河口堰ゴミ漂着状況（5月24日撮影）

５月２３日の大雨によって、遠賀川河口堰に大量のゴミが流れ着きました。

ゴミの量は推定で約100㎥の見込みです。

ゴミは、河口へと流れ出て海岸や港湾施設に打ち寄せられることが予想されるため、５月２４日から撤去作業を行い、現在水揚げしたゴミの分別作業を行っています。

漂着ゴミ水揚げ状況（5月27日撮影）

今後３日程度で分別を行いゴミの種類毎に処分する予定です。

ゴミの多くは草木類です。その他ペットボトル、発砲スチロール等の生活ゴミですが、タイヤなど様々な種類のゴミが混在しています。

遠賀川はみんなの川です。その水は多くの人々の飲み水としても利用されています。今後も流域内の関係機関や住民団体等と連携し、ゴミ問題に取り組んでいく考えです。

【この記者発表に関する問い合わせ先】
国土交通省　遠賀川河川事務所　管理課　TEL ０９４９－２２－１８３０
課長　篠原 昌秀　係長　松本 秀一
国土交通省　遠賀川河川事務所　河口堰管理支所　TEL ０９３－２０１－１６７５
支所長　高野　誠二　係長　深浦　貴之

～　発表先　～
○直方地区　○田川地区　○飯塚地区　○北九州地区

（参考資料）

○近年のゴミ回収量

遠賀川河口堰は、水巻町と芦屋町にまたがる遠賀川最大（長さ５１７ｍ）の可動堰です。遠賀川の最下流に位置する河口堰には、大雨が降って洪水になる度に遠賀川流域のゴミが大量に流れ着きます。その量は洪水の規模や回数に左右されますが、近年の河口堰で回収したゴミの量は下表のとおりで、処理費用は年間約２千万円程度です。

年	ゴミの量
平成１１年度	２，７００㎥
平成１２年度	１，２００㎥
平成１３年度	９００㎥（堰全開操作有り）
平成１４年度	８００㎥
平成１５年度	２，６００㎥（堰全開操作有り）
平成１６年度	３，２００㎥
平成１７年度	６００㎥
平成１８年度	３，４００㎥
平成１９年度	１，３４０㎥
平成２０年度	２，３００㎥
平成２１年度	２，８００㎥（堰全開操作有り）

＊河口堰のゲート操作は、ゴミを下流に流出しないように細心の注意を払いながら操作していますが、平成１３年度、平成１５年度、平成２１年度には非常に大きな洪水があり、安全のためゲートを全開しなければなりませんでした。したがって実際に漂着したゴミの量は、上表の回収量より多かったと推定しています。堰下流から海の方へ流出したゴミは、海岸や漁港へ漂着して問題となりました。

※塵芥回収イメージ

岸の方へ引き寄せた後は、バックホウで掴み取り、山積みにした後に分別作業を行います。